

せんそうがあったころ（60年ぐらい前）

1941年に太平洋せんそうが始まりました。そのせんそうで、わたしたちの町からも、たくさんの若い人たちが^{ぐんたい}軍隊に入ったり、^{へいき}兵器をつくる工場へ工員として出て行ったために、農家では、^{はたら}働き手を^{うしな}失い、^{のうさくぶつ}農作物をこれまでのようにつくることができなくなりました。そのため、食べ物も少なくなり、みそやしょうゆなど、国からのはいきゅうだけでは間に合わなくなりました。それで、米と物とを交かんすることも行われるようになりました。

また、^{ビー}B 29という^{ひこうき}飛行機がわたしたちの町の上空にもとんで来るようになり、女の人を中心に、^{ちゆうしん}防空えん習が^{ぼうくう}行われ、ばくだんを落とされたときの^{しょう}消火くん^{れん}練などをしました。



▲防空えん習

防空ずきんや防火用の水おけやもんぺなど、防さいにひつようなものが、^{かくかてい}各家庭にもじゅんびされていきました。



▲せんそう時のふくそう